

# 令和2年度 決算 報告

## 基金および市債の状況

項目	令和元年度末	令和2年度末	増減
基金(一般会計)	104億6,702万円	100億7,197万円	△3億9,505万円
財政調整基金	54億9,559万円	51億5,964万円	△3億3,595万円
減価基金	7億2,455万円	4億105万円	△3億2,350万円
特定目的基金(※)	42億4,688万円	45億1,128万円	2億6,440万円
市債(借入金)残高	612億6,277万円	595億9,730万円	△16億6,547万円
一般会計・特別会計	575億9,080万円	353億3,660万円	△222億5,420万円
水道事業会計	36億7,197万円	32億7,520万円	△3億9,677万円
下水道事業等会計	0万円	209億8,550万円	209億8,550万円

※特定目的基金とは、福祉事業基金、国際交流基金など、用途が特定されている基金のことです  
 ※令和2年4月1日付けで、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計および個別排水処理事業特別会計での借入地方債が下水道事業等会計に引き継がれたため、「令和2年度末」の状況は下水道事業等会計の中で整理しています

## 特別会計

項目	収入	支出
国民健康保険(事業勘定)	89億2,765万円	87億8,299万円
国民健康保険(診療施設勘定)	1億63万円	1億63万円
後期高齢者医療	10億9,893万円	10億9,324万円
介護保険	91億429万円	88億5,617万円
農産物直売事業	548万円	423万円
伊香保温泉観光施設事業	2億4,056万円	2億3,292万円
小野上温泉事業	5,897万円	5,897万円
交流促進センター事業	6,179万円	5,395万円

※収入額および支出額には、令和元年度から令和2年度への繰越分を含みます

## 企業会計

項目		収入	支出	項目		収入	支出
水道事業会計	収益的収支	18億518万円	17億6,269万円	下水道事業等会計	収益的収支	28億2,703万円	25億4,751万円
	資本的収支	9,187万円	10億2,566万円		資本的収支	18億8,094万円	26億5,873万円

※収入額および支出額には、令和元年度から令和2年度への繰越分を含みます  
 ※水道事業会計で資本的収入額が資本的支出額に不足する分は、過年度分損益勘定留保資金などで補いました  
 ※下水道事業等会計で資本的収入額が資本的支出額に不足する分は、引継金などで補いました

## 健全化判断比率・資金不足比率

地方自治体の財政状況を判断する指標として、「健全化判断比率」と「資金不足比率」があります。

本市の令和2年度決算の比率は、いずれも基準値を下回り、財政状況は「健全」といえます。今後も財政規律を維持しながら健全な財政運営に努めていきます。

### 健全化判断比率

比率の名称	本市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.36%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	17.36%	30.0%
実質公債費比率	5.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	28.4%	350.0%	-

### 資金不足比率

比率の名称	本市の比率	経営健全化基準
資金不足比率(各公営企業会計)	不足なし	20.0%

### 用語解説

- ・**実質赤字比率** 中心的な行政サービスを行う一般会計などの赤字の程度を指標化したもの。赤字がないことが望ましい。
- ・**連結実質赤字比率** 全会計の赤字や黒字を合算し、市全体での赤字の程度を指標化したもの。赤字がないことが望ましい。
- ・**実質公債費比率** 借入金の返済額とそれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。数値が低いほうが望ましい。
- ・**将来負担比率** 一般会計の借入金や将来支払う可能性のある負担などについて、現在の残高の程度を指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率。数値が低いほうが望ましい。
- ・**資金不足比率** 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す比率。不足額がないことが望ましい。

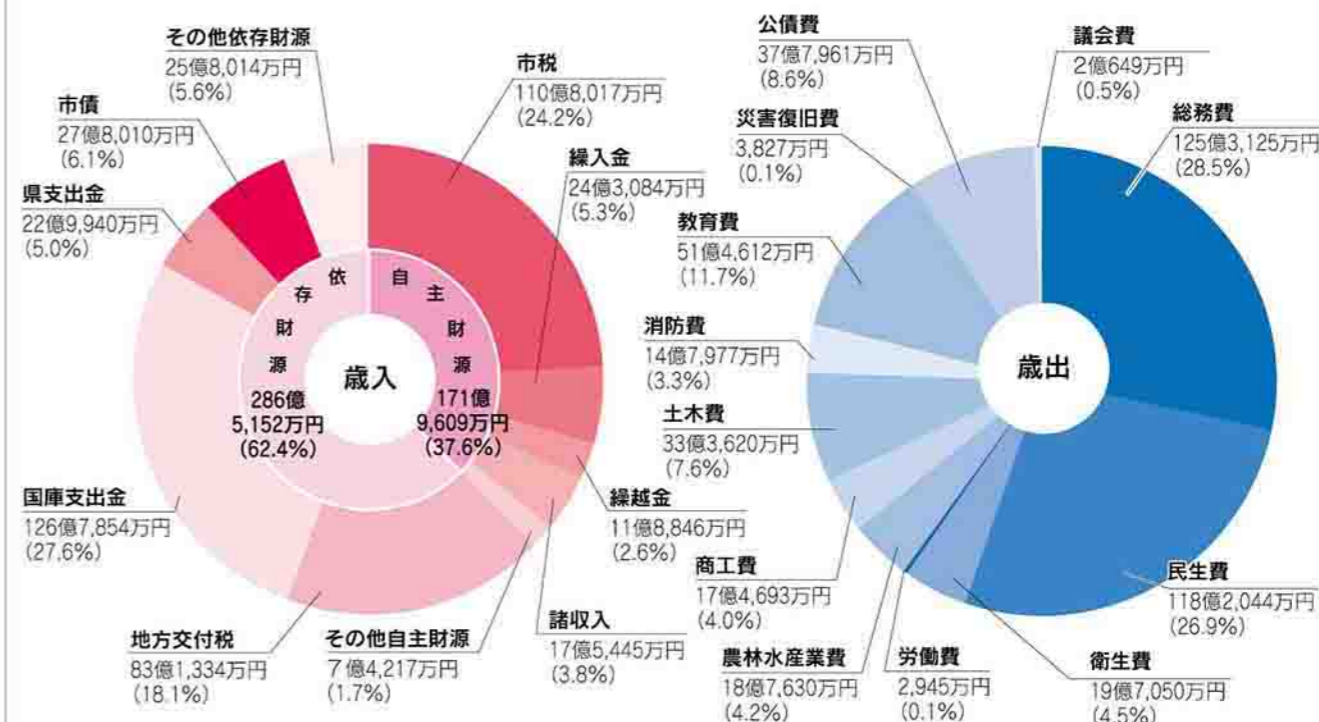
財政状況の詳細なデータは、市ホームページ(<https://www.city.shibukawa.lg.jp/>)で見られます。

## 一般会計決算

令和2年度決算における一般会計の歳入総額は、458億4,761万円で、前年度決算額と比べて17%増加しました。また、歳出総額は、439億6,133万円で、前年度比19.1%増加しました。歳入、歳出ともに前年度と比較して増加していますが、これは、特別定額給付金など、コロナ対策のための経費が増加したことによるものです。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額は、18億8,628万円となりました。そのうち、10億円を将来の備えとして財政調整基金に積み立て、残額の8億8,628万円は令和3年度予算の一部として使用しています。

詳しくは、財務課(☎2414)へ。



※歳入額および歳出額には、令和元年度から令和2年度への繰越分を含みます

歳入合計 458億4,761万円

歳出合計 439億6,133万円

### 歳入の用語解説

- ・**市税** 市民税や固定資産税など
- ・**収入金** 積み立てていた基金などから繰り入れるお金
- ・**繰越金** 決算剰余金など前年度から繰り越されたお金
- ・**諸収入** 利子や雑収入など
- ・**地方交付税** 市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- ・**国庫支出金** 特定の事業を行うために国から交付されるお金
- ・**県支出金** 特定の事業を行うために県から交付されるお金
- ・**市債** 国や金融機関などから借り入れるお金

### 歳出の用語解説

- ・**総務費** 市の全般的な事務に使われるお金
- ・**民生費** 子どもや高齢者、体の不自由な人のために使われるお金
- ・**衛生費** 市民の健康増進やごみの処理などに使われるお金
- ・**農林水産業費** 農林水産業の振興や土地改良などに使われるお金
- ・**商工費** 商工業や観光の振興などに使われるお金
- ・**土木費** 道路や公園の整備などに使われるお金
- ・**教育費** 幼稚園、小・中学校、体育・文化活動などに使われるお金
- ・**公債費** 借り入れたお金の返済に使われるお金